

手 西町の小坂さんに感謝状を贈呈
づくりペン立てを贈り続けて20年

4月20日の定例教育委員会に先立ち、20年以上にわたり町内小学校の新入学児童に手づくりのペン立てを贈り続けてこられた、西町の小坂岐夫さん(86才)に教育長から感謝状を贈呈しました。

ペン立ては、ラップやホイルなどの芯を「再活」し、その上に色鮮やかな千代紙などを張り付け、とても華やかでしっかりとしたつくりになっています。

「私のライフワーク」と、コツコツとつづつ、毎年約200個を製作され、4月の入学時にあわせ学校に届けてこられました。

永江教育長は、4人の教育委員とともに「今日求められている地域とともに歩む学校づくりを、正に住民の立場から先取りされたボランティア活動で、子どもたちにも小坂さんの想いがしっかりと伝わっています。」と感謝の言葉を述べました。



手作りのペン立て(写真左)と贈呈式の様子(写真上)



足立取締役常務(左)から青砥会長へ目録を贈呈

法 とりぎん青い鳥基金贈呈式
勝寺歌舞伎保存会に助成金を贈呈

5月15日に鳥取銀行の「とりぎん青い鳥基金」の助成金贈呈式が法勝寺庁舎で行われ、同行足立日出男取締役常務から、法勝寺歌舞伎保存会の青砥正幸会長に目録が手渡されました。

同基金は青少年の健全育成を目的に、県内の社会教育活動、地域・芸術文化振興の活動を支援するもので、平成23年下期は法勝寺歌舞伎保存会など5団体が選ばれました。青砥会長は「子ども歌舞伎も11年目となり、保護者と子どもの協力と熱意があって続けられている。助成金は道具などに使わせていただきます」と話されました。

高齢者叙勲

受章おめでとうございます

春の褒章

松本十三穂さんは、昭和62年から4期16年間西伯町議会議員を務め、地方自治発展に尽くされました。また町議会議長、民生常任委員会委員長なども歴任されました。
 ※高齢者叙勲：春秋の叙勲を受章していない功労者の方に対し88歳になったのを機に授与されるものです。

◇旭日単光章◇



とみほ 松本 十三穂さん(西町)

◇黄綬褒章◇



すみこ 松本 澄子さん(東町)

松本澄子さんは、昭和51年から36年間にわたり福祉施設に勤務し、介護、支援に尽くされました。現在は「西部やまと園」(倭)の次長を務められています。「以前施設に通所しておられた方が、今も慕ってくださる。やりがいのある仕事です」と話されました。
 ※黄綬褒章：業務に精励し、他の人の模範となる方に授与されるものです。